

GHQ/SCAP Records (RG 331, National Archives and Records Service)

Description of contents

- (1) Box no. 2981
- (2) Folder title/number: (21)
Education - Handicapped
- (3) Date: Jan. 1949 - Mar. 1951

(4) Subject:

Classification	Type of record
9811	e, t

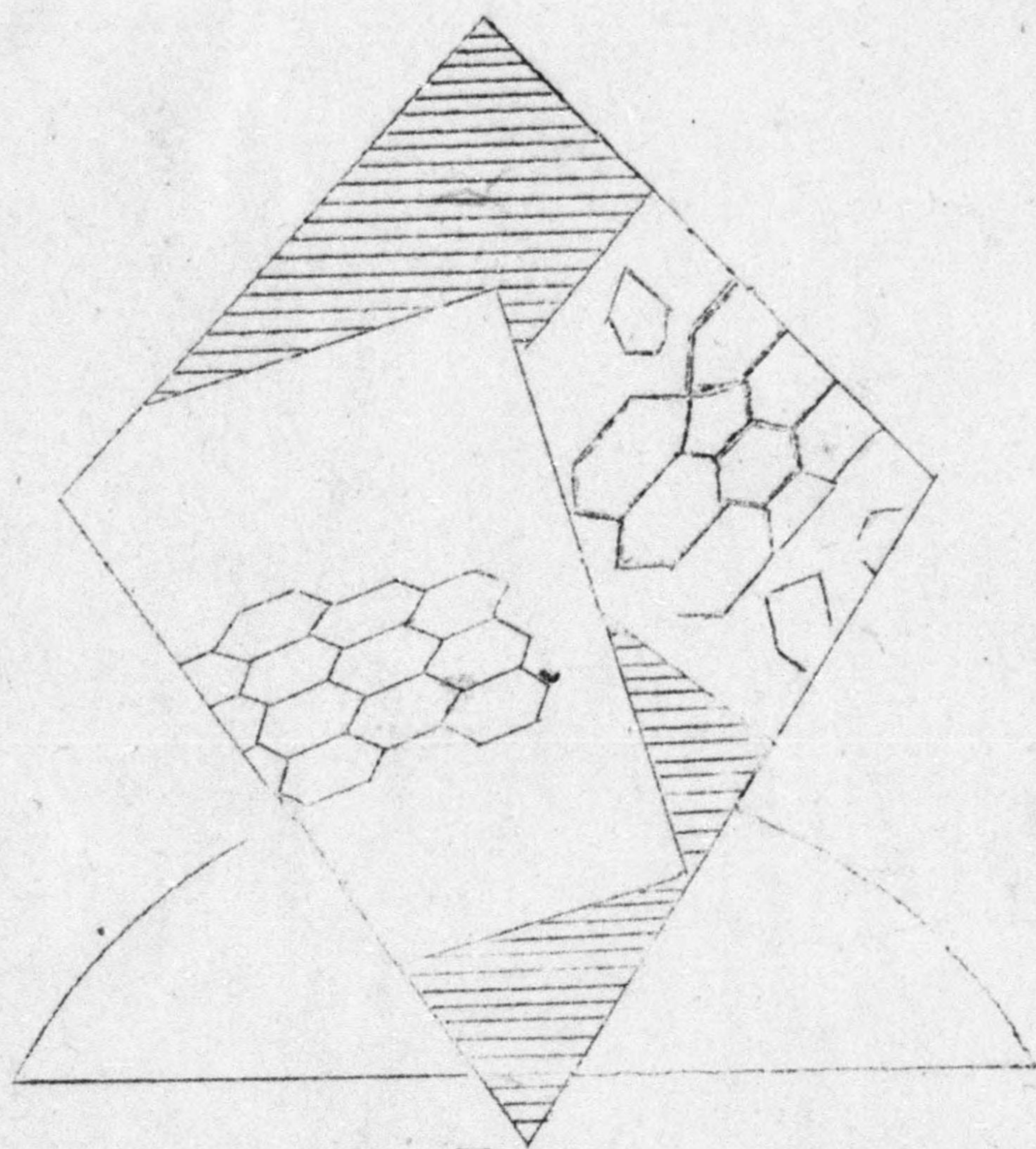
- (5) Item description and comment:
Kinki

- (6) Reproduction: Yes No

- (7) Film no. Sheet no.

(Compiled by *National Diet Library*)

Special Class
特別学級の現状
for the Mentally Retarded



Tokoku Elementary School
兵庫県姫路市立城北小学校

Himeji City, Hyogo Pref

1951年 2月2日

How we have guided slow pupils in our school.

第一本校學業不振児指導の経過

世も挙げてカリキュラム構成に夢中になる折柄靜かに児童の學習能力の實際を考察する時知能指數高くして要亦水準に到達しない者が可なり多い事が發見されたのは昭和二十四年五月であつた。茲に於て之等學業不振児を如何に救済するか。知能指數と平衡を保つ爲めに如何なる方法をとるか。を研究主題として數回に亘る討議の結果、次の三案を實踐面より考究した。

1. 學業不振に到達した障壁を發見し之を除去すること
2. 普通學級に於ける不振児の取扱を如何にするか。
3. 普通學級に於いて救済不可能な程度の者を如何にするか。

一 障壁の發見

家庭事情によるもの、生育歴に關係する者、情意不安定に原因する者等に大別したが多くは相交錯してゐる。然し之等の多くが一二年の最も基礎學習時代を空費せしめられたり、縁故疎離によつて空費した事案が主因である事は争はれない事實である。かく考へるとどうしても我々の手によつて一刻も早く救済せねばならぬという立場より、

1. 基礎學習の時間に該當する児童を抽出して担任外の主席教師が個別指導する。

2. 教科外特別教育活動(毎週二時間)の時間に遅滞児を組織して根本的治療する。

3. 普通學級に於ける不振児の取扱

社会科回圖工作等は異値グループの形式で指導し、基礎學習の場合には等値グループを編制し不振児には程度を軽くしたカリキュラムを与へる。

3. 精神遅滞によつて普通學級に於て救済不可能な者の取扱

昭和二十四年度は其の取扱に苦しみつゝ學級編制までには至らず

昭和三十五年より特別學級を編制する事にした。

第二 遅滞児學級の特設

Establishment of Special class for mentally retarded children

昭和三十五年四月より定員二名の配當を得て一級學級を編制した。

一 対照児童の選抜

Selection of the children

特別學級の設置が學年未だ決定したので三月末に知能テストと學業成績より各學級候補者三三名を選び、之等の父兄会を招催し、その趣旨を説明して賛同を取めた。

対照児童二十七名の中了解を得た者は十七名であつた。

三學級の編成

四月八日 特別學級を編制人員構成は下記の通り

男	二年	三年	四年	五年	六年	計
	0	7	3	2	0	12

Cause for slow learning

1. 学業不振の原因

児童名	性別	学年	IQ	AM	特殊傾向	推定原因
T. M	男	三	八八	八八	消極的で気が弱く、分類的傾向がある	生活保護者、貧困で家庭不衛生である
K. D	男	三	六二	九三	異常傾向がある、怠け易い	貧乏で無責任、教育的関心極めて多い
M. P	男	三	八二	九五	消極的であるが、積習的	不衛生で、家庭に子供の居る事を嫌い、教育に無関心
Y. N	男	三	五二	八八	消極的で気が弱く	生活保護家庭、教育に無関心
K. H	男	三	八二	九五	多動的で落付かず	生活保護家庭
K. O	男	三	五六	九〇	落付かずし、分類的傾向	身体虚弱、貧乏、経済面は良好な事も家庭複雑

三、学級児の現状
 知能テスト クレペリン作業検査 ルップ氏図形模写テスト
 ロールシャッハテスト等を性行記録より次の様に推定する

Present Status of the Children in the class

計	女	男	二年	三年	四年	五年	五年	計
計	〇	〇	〇	七	三	二	〇	一二
計	〇	〇	〇	七	三	二	〇	一二
計	〇	〇	〇	七	三	二	〇	一二

七月五日 原田教諭の着任により、西南、この所四年生と六年生は復帰し戻った。
 七月一日より野里校区より一名編入して下記の組織となる

計	女	男	二年	三年	四年	五年	五年	計
計	〇	〇	〇	七	三	二	〇	一二
計	〇	〇	〇	七	三	二	〇	一二
計	〇	〇	〇	七	三	二	〇	一二

四月八日 特別学級を編成 人員構成は下記の通り
 担任は明珍教諭と決定
 五月七日 明珍教諭の退職により一時学級府定
 原学級に預ける

二、対照児童の選択
 特別学級の設置が学年末に決定したので三月末に知能テストと学業成績より各学級候補者三三名を選び、之等の父兄会を副催し、その趣旨を説明して賛同を求めた。
 対照児童二十七名の中了解を得た者は十七名であった
 三、学級の編成

昭和三十五年四月より定員一名の配当を得て一級四年級を編成した
 昭和三十四年度は其の取扱に苦しみつゝ、学級編成までには至らず
 昭和三十五年より特別学級を編成する事にした。

第二 遅滞児学級の特設
 Establishment of Special class for mentally retarded children

には程度を軽くしたカリキュラムを与へる
 三、精神遅滞によつて普通学級に於て救済不可能な者の取扱

Pregnancy

Survey of environments

Developmental Record

3 環境調査

2. 生年月日

4. 学習の基礎能力

母	父	職業	鉄工業	無職	裁縫工	製衣	玩具職	生金信販	鉄道員
一	一	三	一	一	二	一	一	一	三

下	中	上	生活程度
七	二	二	

下	中	上	清潔力の程度
八	一	二	

母	父	妊娠時両親の年齢
2		20 24
3	1	25 29
3	1	30 34
2	6	35 39
1	1	40 44
	2	45 49

T.M	T.M	M.S	M.Y	M.M	K.O	K.H	Y.N	M.D	K.D	T.M	現産者性別	胎産期間	出生	出生時	出生時	出生時	兄弟と順位	疾病	栄養	
女	男	女	女	男	男	男	男	男	男	男	男	月	日	日	日	日	日	日	日	日
5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
大月	九月	一月	八月	一月	一月	九月	一月	一月	一月	一月	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	一〇月	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
二人の末	四人の三	六人の六	一人長女	二人の五	三人の二	三人の二	四人の三	五人の長男	二人の長男	二人の長男	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	百日ロキチ	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	戦災爆音で気絶	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月
母乳	母乳牛乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	母乳	男	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月	10月

T.M	T.M	M.S	M.Y	M.M
女	男	女	女	男
五	五	三	三	三
六四	六六	無能	六六	六四
百九	百二	百四	百一	百三
消極的	継続性なし	無口時奇声を発す	消極的無口	消極的で笑弱
			介助的傾向	
				生活保護家庭 遺傳的梅毒毒志で吹出物が多い
				継母 教育的関心少し
				精神異常者で家庭でも放置 幼少時の高熱
				家庭に近く 家庭極めて良好
				親戚の三階階 爆音の身脳神経を害す

Basic ability for learning

T	M	M	M	K	K	Y	M	K	T	児童名
M	S	Y	M	O	M	N	D	D	M	性別
女	男	女	女	男	男	男	男	男	男	学年
5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	知能
64	66	無	66	64	56	82	52	82	82	知能
X ₀	X ₀	△X ₀	△X ₀	X ₀	X ₀	X ₀	X ₀	X ₀	X ₀	基数+基数 繰上なし
X ₀	X ₀		0	X ₀	0	0	X ₀	X ₀	X ₀	基数+二位数 繰上なし
X ₀	X ₀		0	X ₀	0	0	0	0	0	二位数+二位数 繰上なし
X ₀	X ₀		X ₀	0	0	0	0	0	0	基数+基数 繰上
X ₀	X ₀		X ₀	0						二位数+基数 繰上
0	0		X ₀							二位数+二位数 百以上
0	0		X ₀							三位数+基数 繰上なし
0	0		X ₀							三位数+二位数 繰上なし
0	0		0							三位数+基数 繰上
0	0		0							三位数+二位数 繰上二回
0	0		0							三位数+二位数 繰上三回
0	0									掛算九九
0	0									二位数×基数
0	0									二位数×二位数
0	0									二位数÷基数 余あり
0	0									二位数÷二位数 余あり
										二位数÷基数 余あり
										二位数÷二位数 余あり

Xは編入当初
0印は土月未

4. 学習の基礎能力

母	父	職業
		鉄工業
		無職
		裁縫工
		農
		道具職
		生倉庫
		鉄道員

下	中	上	生活程度
七	二	二	

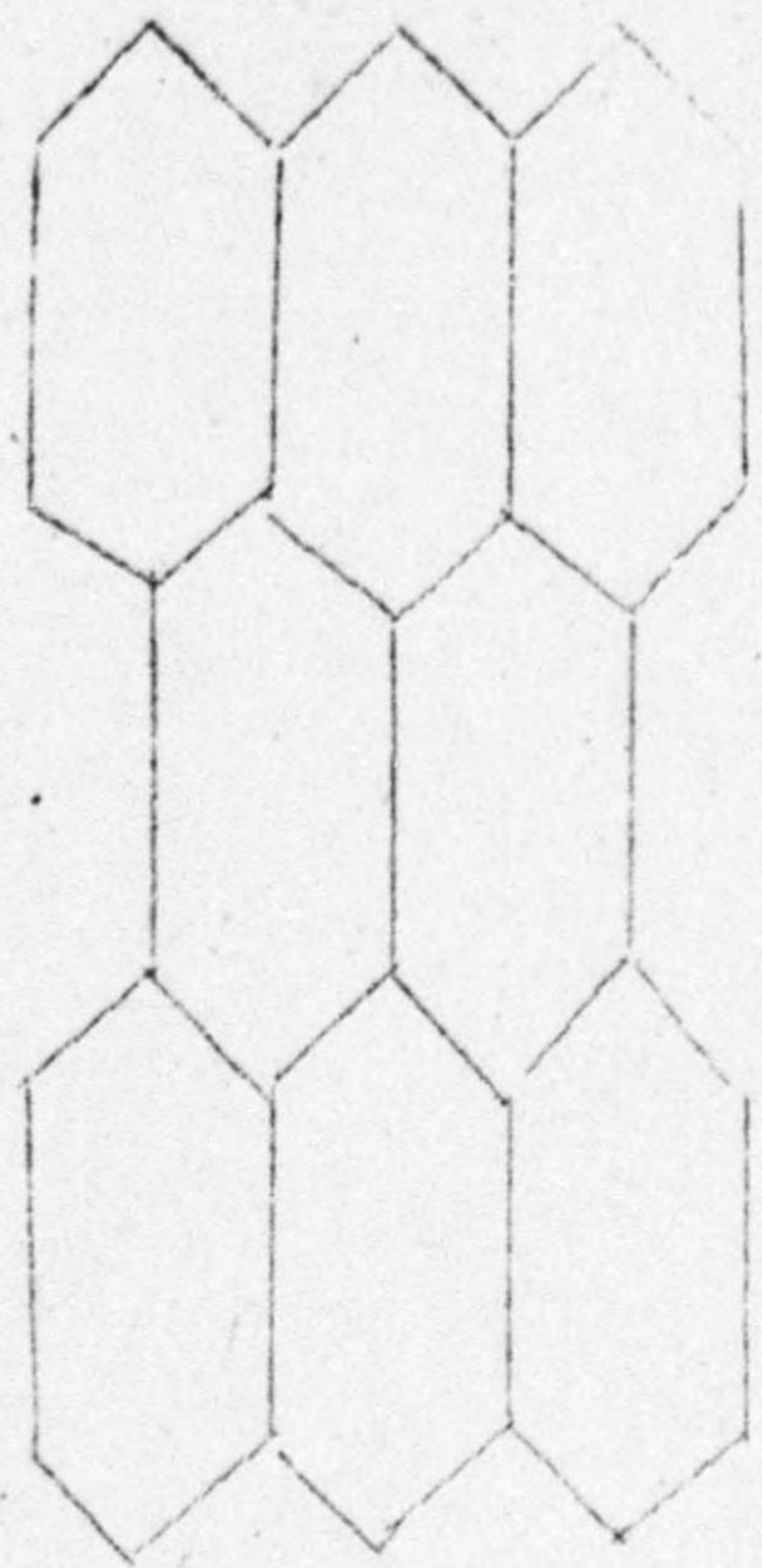
下	中	上	清潔の程度
八	一	二	

Survey of environments

3 環境調査

母	父	妊娠時両親の年齢
2		20 124
3	1	25 129
3	1	30 134
2	6	35 139
1	1	40 144
	2	45 149

T	M	M	M	M
M	S	Y	M	M
女	男	女	男	男
5	5	3	3	3
大月	九月	八月	八月	八月
			産	産
合	合	ハ	ハ	ハ
一	一	三	三	三
一	一	三	三	三
二人の末	四人の三	六人の六	一人	長女
百日の子	はしか	はしか	はしか	はしか
戦災爆音で絶	肺炎	消化不良	肺炎	肺炎
	母乳	母乳	母乳	母乳
	母乳	母乳	母乳	母乳



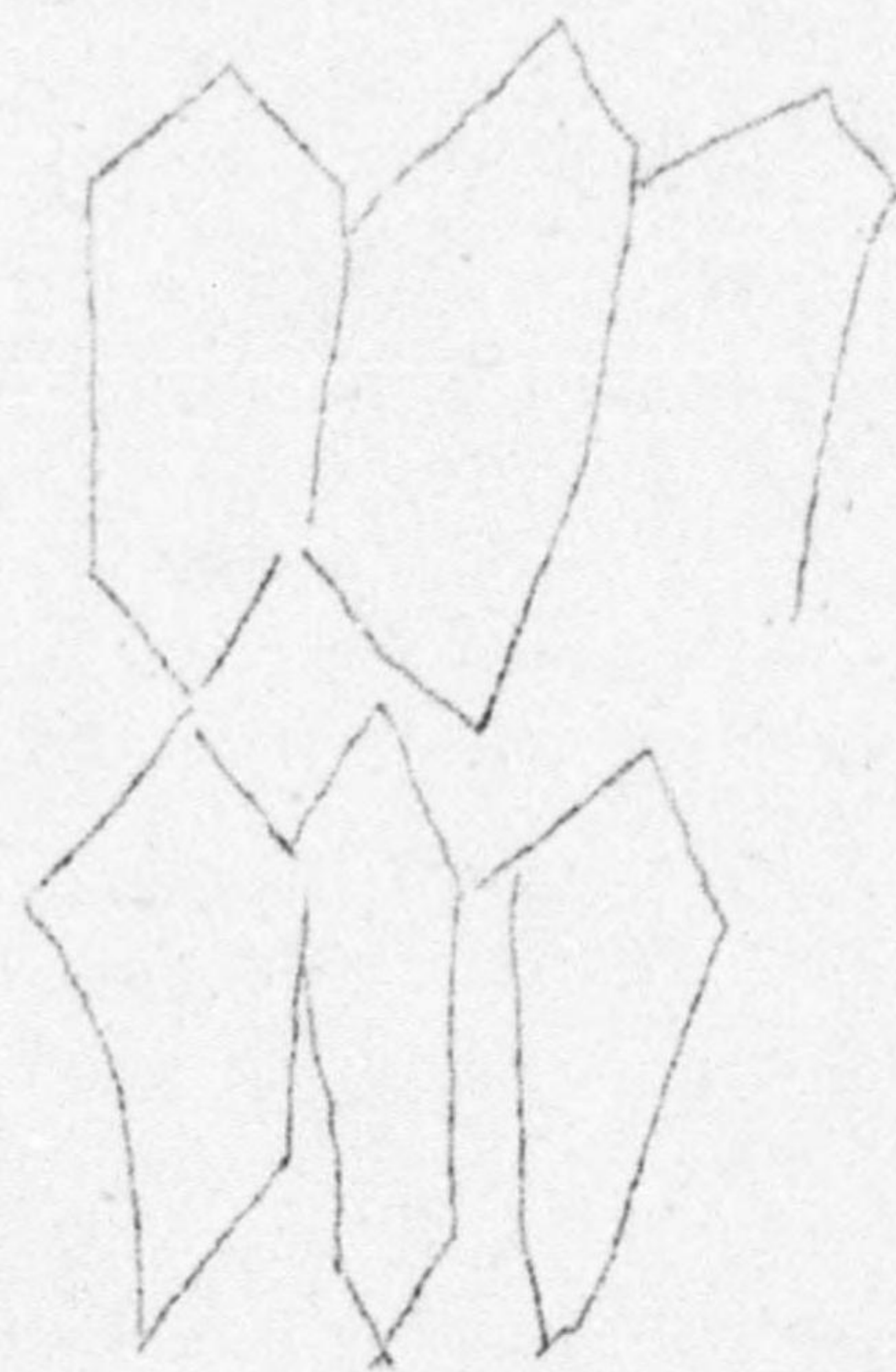
↑ S はこんな形に
まわっている

由に S の
角度も描記する

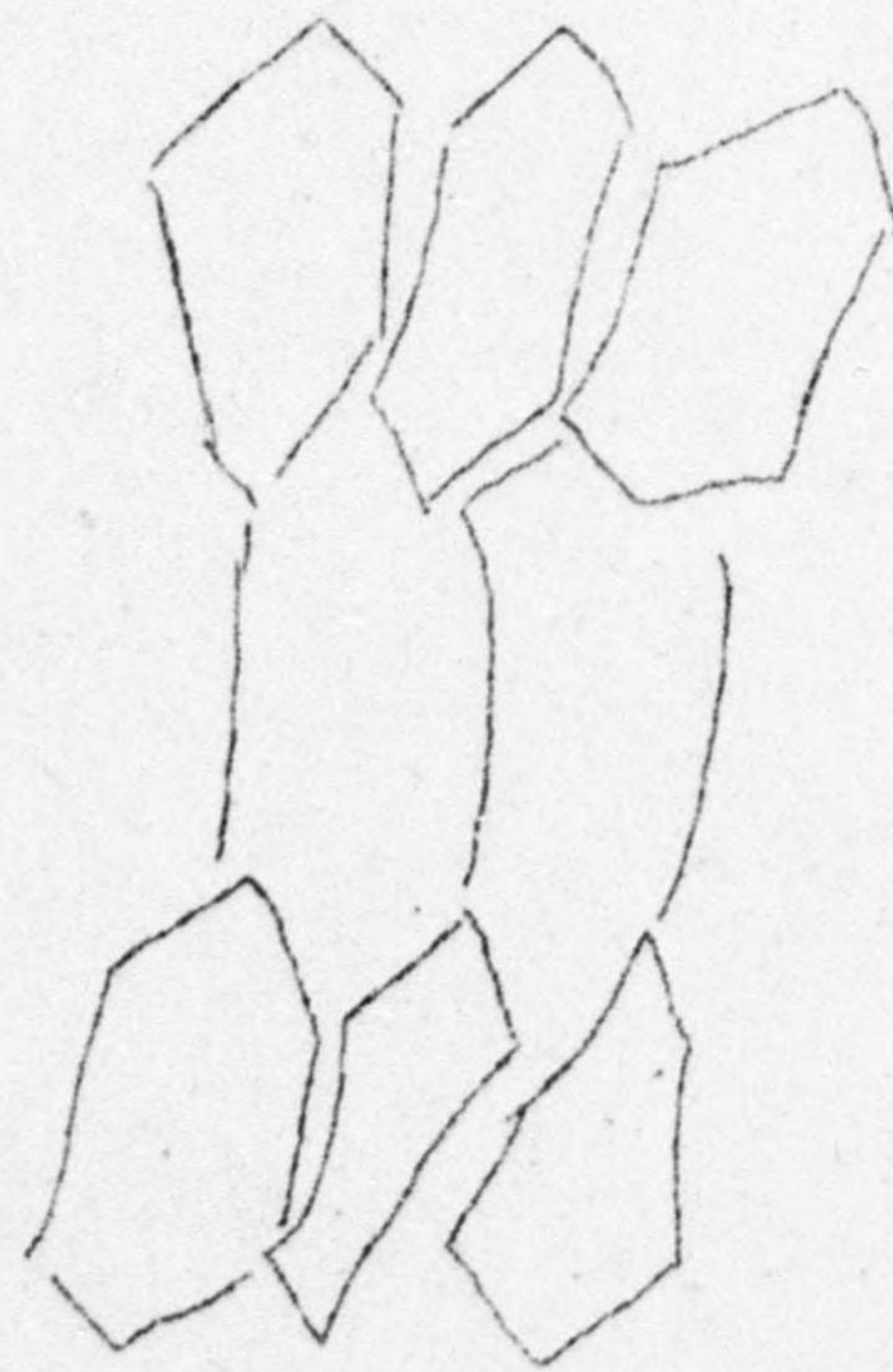
M.
D



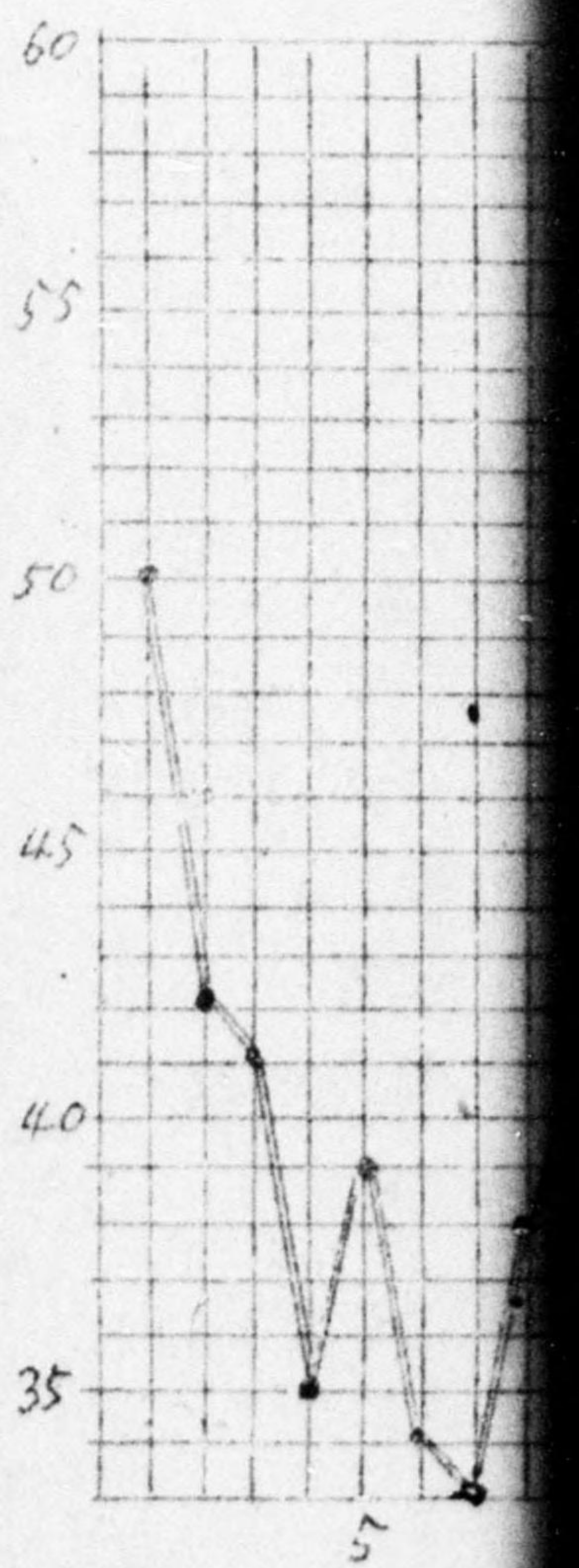
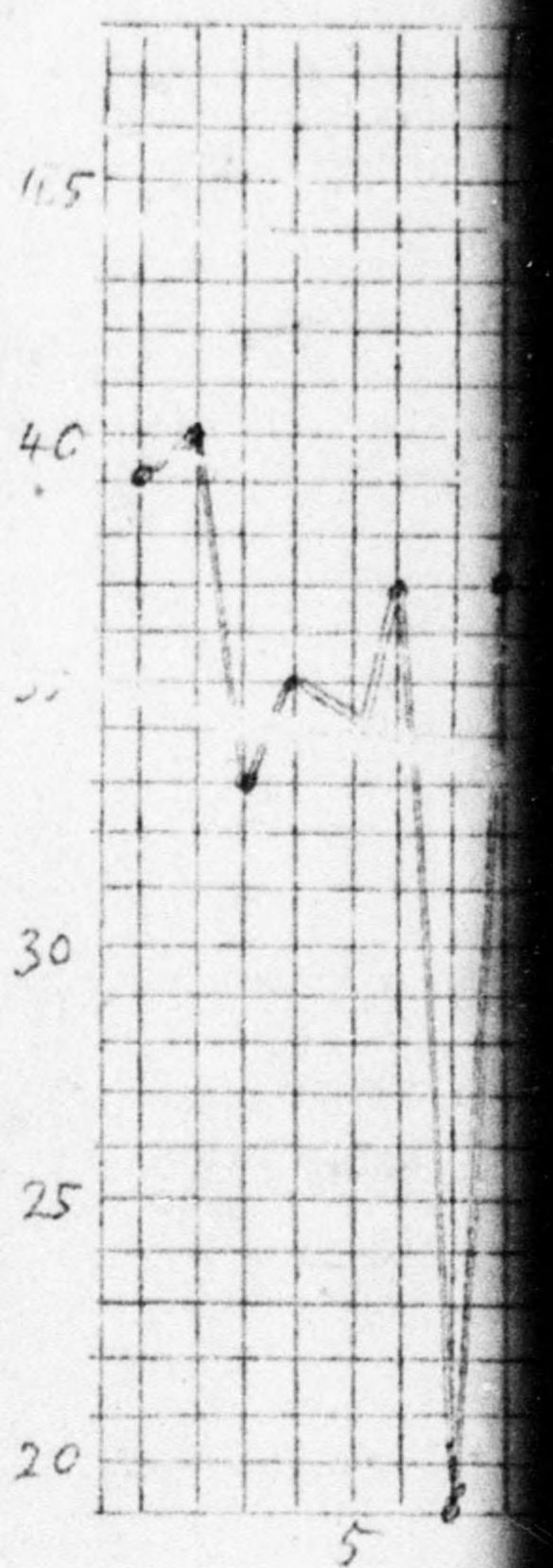
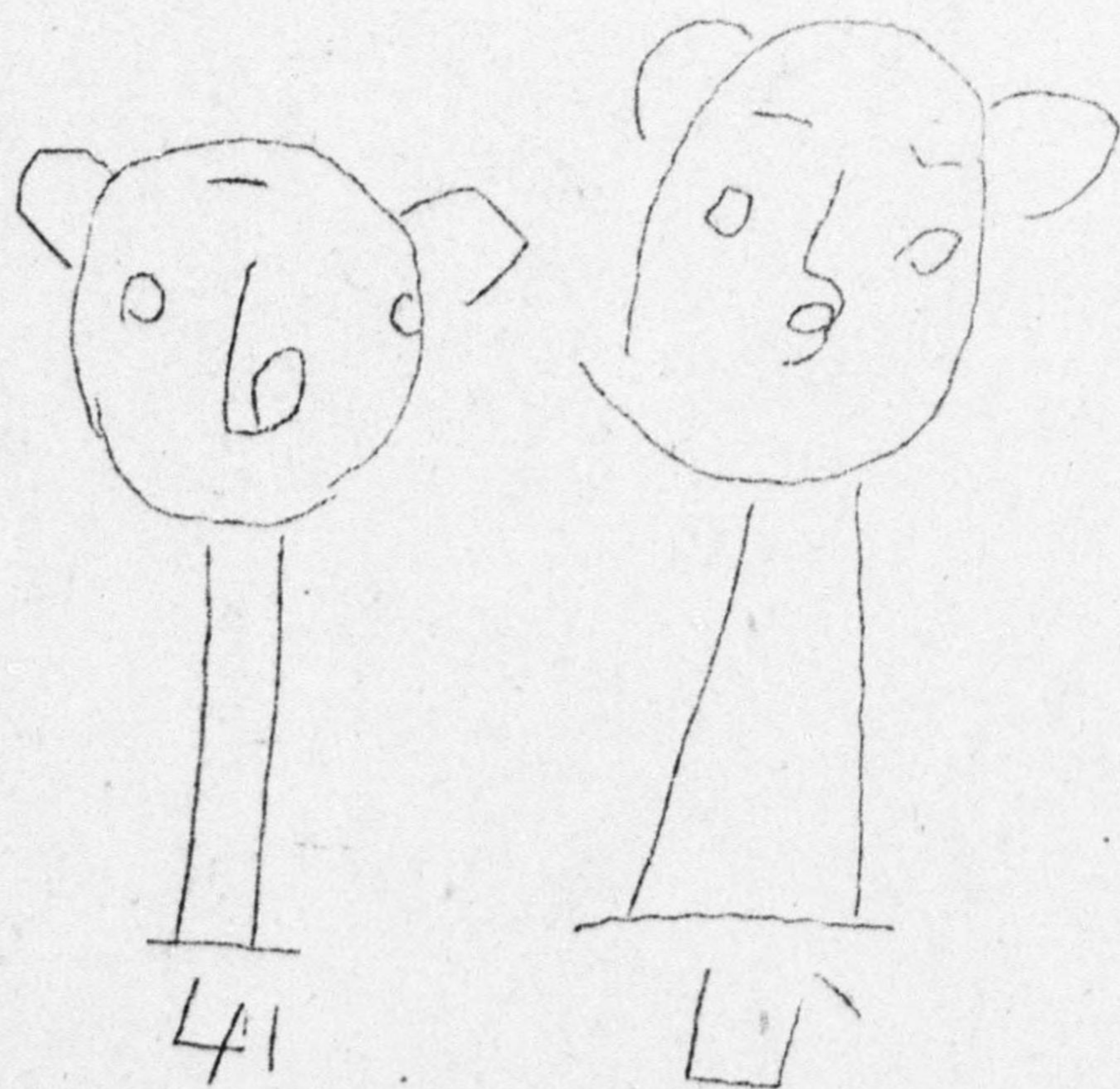
K.
H

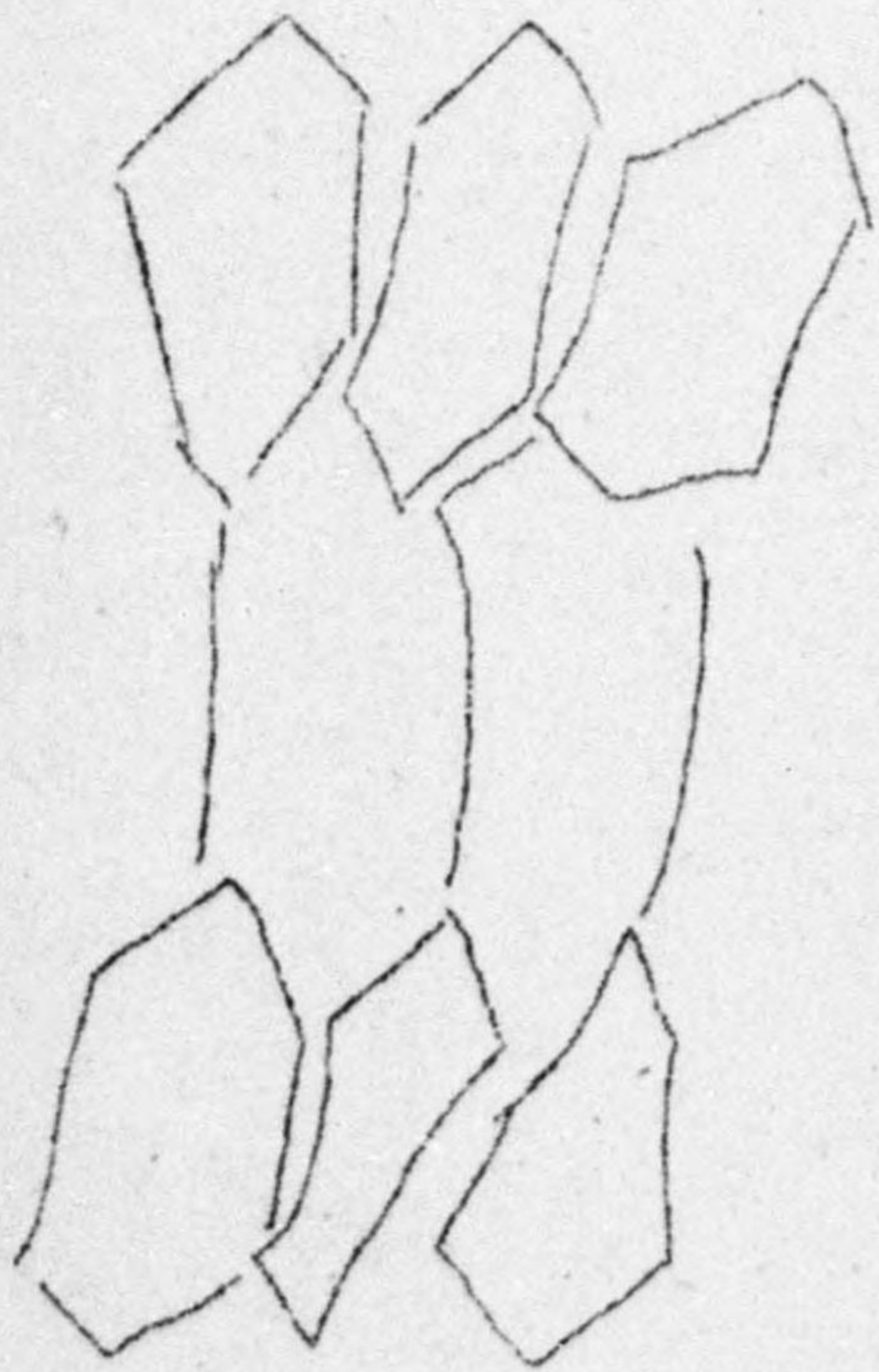
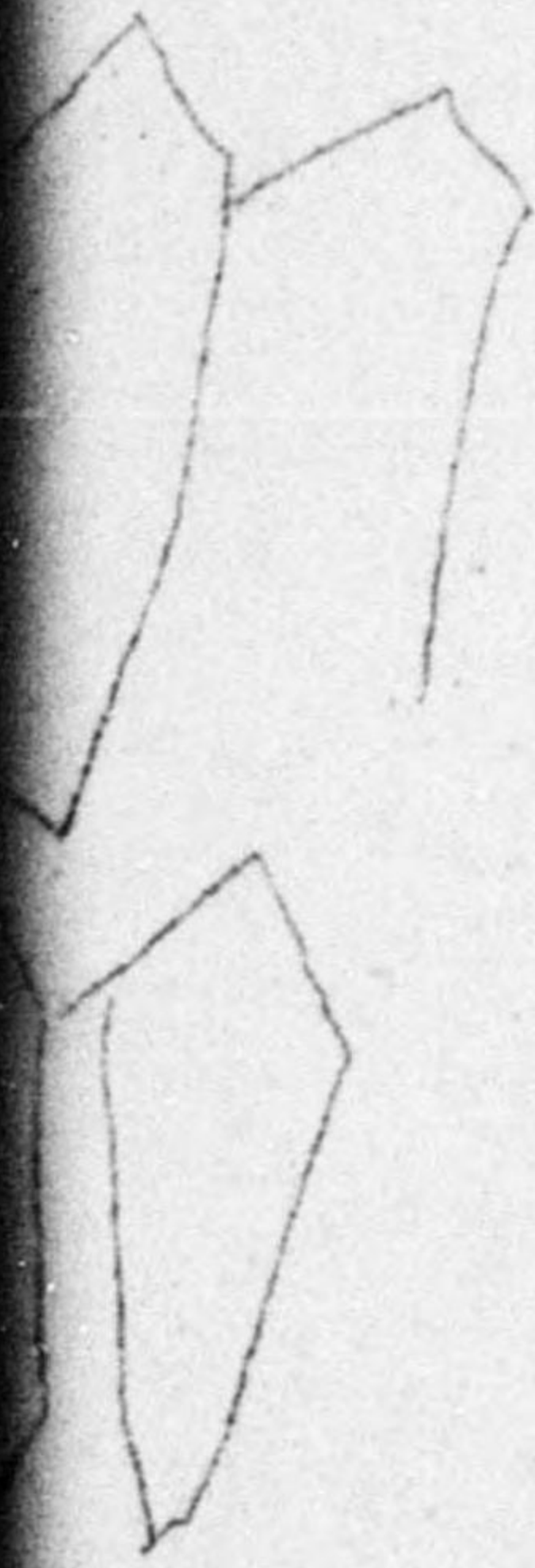
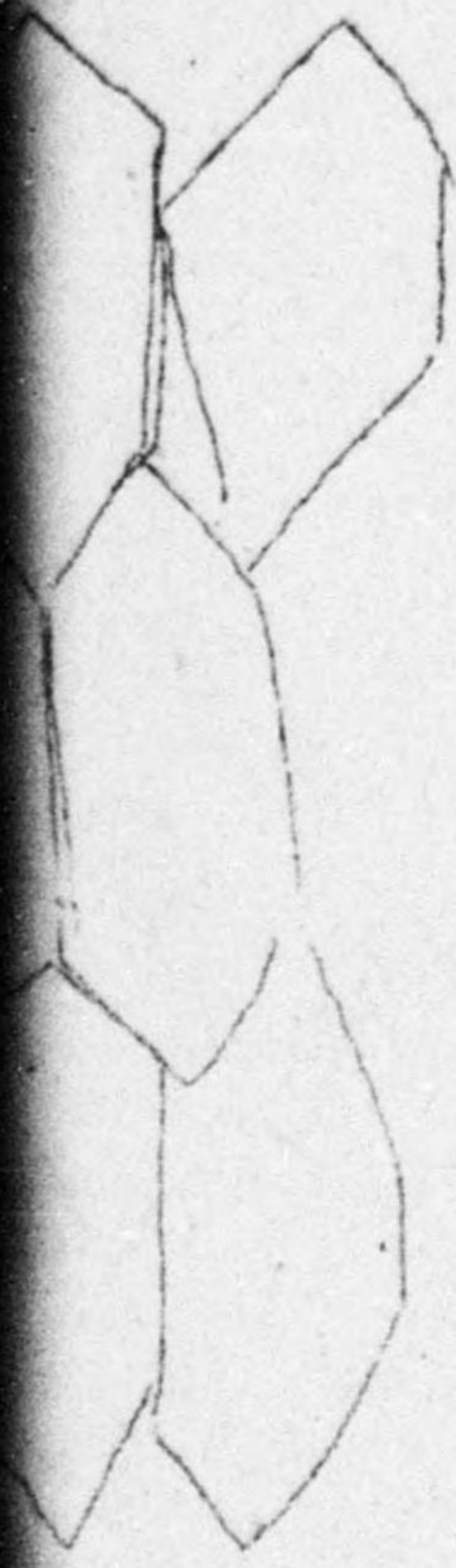


Y.
N



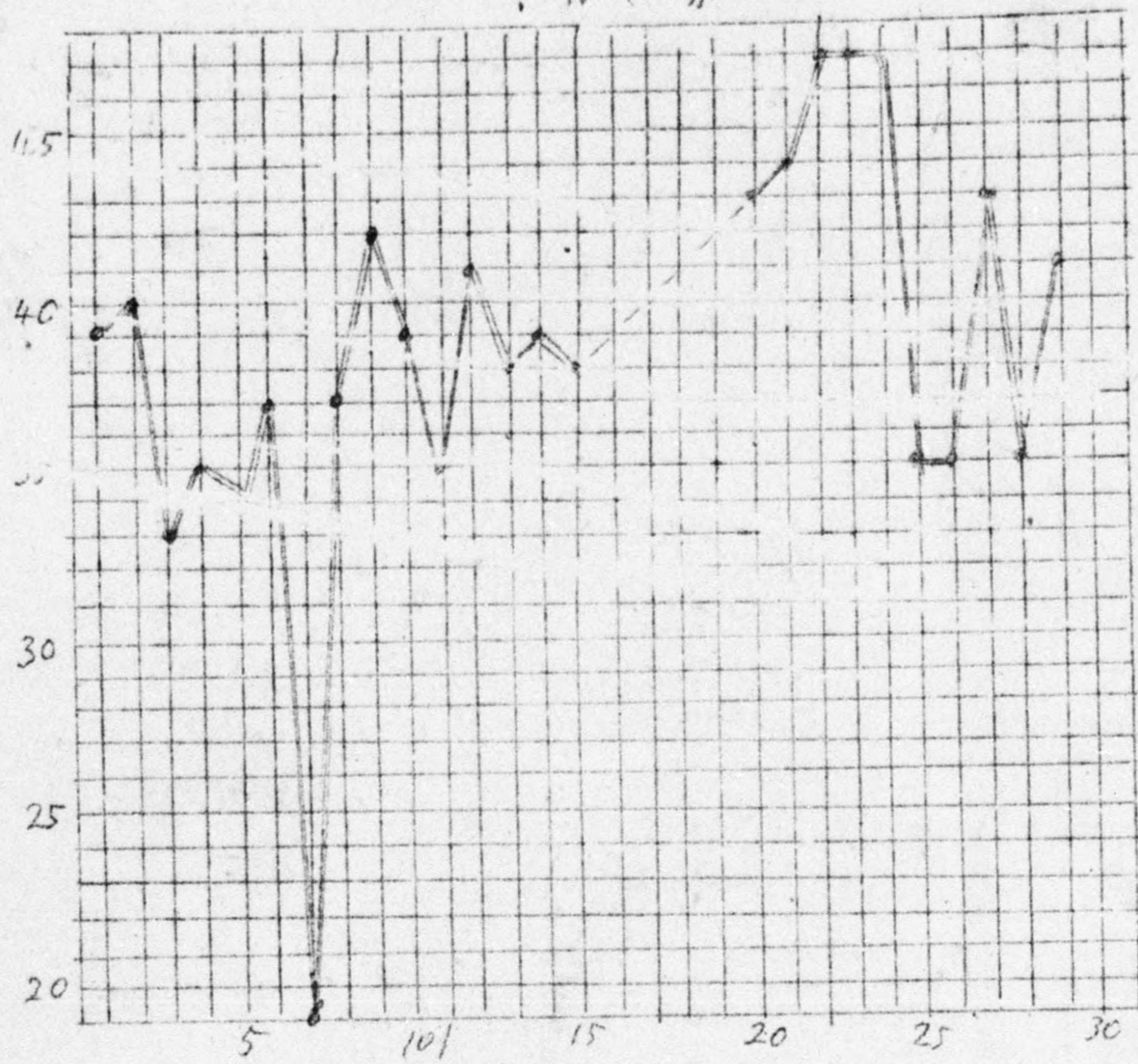
○ルツ70の形図構成ニスト
このニストの結晶し正常なものほど記録しない
特徴の顕著なもののみを記録する





○ルックの形因構成ニスト
 このエッセーの結果、正常なものとは記録しない
 特徴の顕著なもののみを記録する

Y. M. (三男)



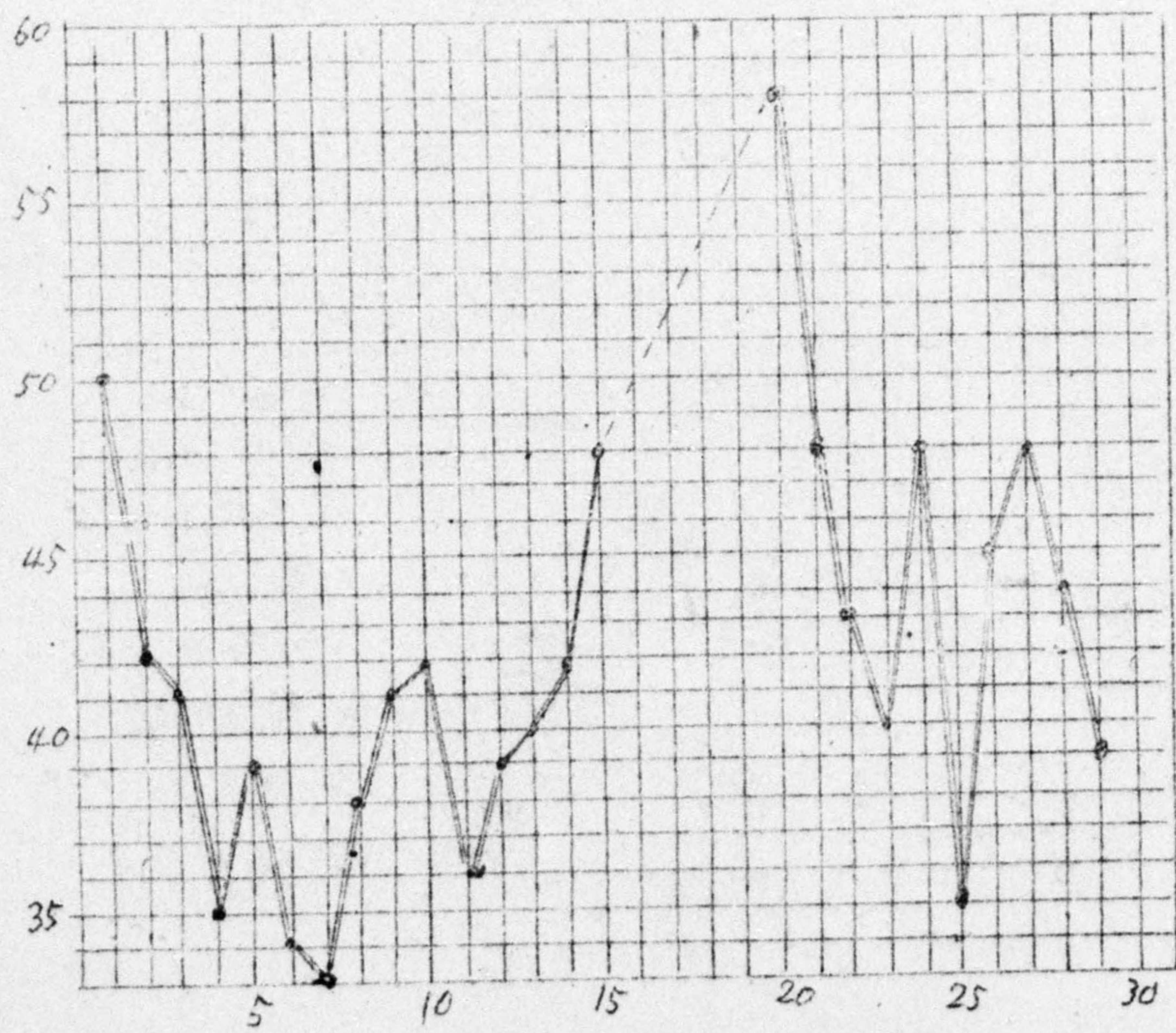
↑
 原上り下降
 中高等の型を
 示し平坦さ
 多量動揺が
 定型傾向で
 ある

妻復者

Degenerate

○クレペリン作業検査の結果は其の特徴の顕著な者のみを摘録し普通の型を示すものは表示しない
 事とする この症も型の性格から来たもので女当であるかどうかは疑向である。

T. M. (五男)



d
 異常傾向が
 明らかで
 ②式で40以上の
 の生型である
 分裂性性格者

Scale of unity in handwriting

と怒り帰ると云うのが遊んで出遅れたところへ母と共に火鉢の側で遊んでいた
「飽き学校に四出して休ませる事を止め頂きたい又母の親がそれを見かねて平気でいると云う事は
一体どうした高きですか免れ前々日学校へついでに行きませう」
といつれを言ったが又取らぬ日欠席したから防閑すると

「歯痛で学校へ行っても困るだろう」と思て休ませ父と一緒に山へ行きました
と私が言ふより先に話さした

山へ行ける位なら何故学校に来させて呉れませんか、私から先きもある事です一寸した事で休

ませると云うなり妹を怒りたりませうから病氣へなる位は病氣以外に休ませない様にし
て下さい、弟一歩内視から言はして頂かないとお子さんも良くなりません最初御出にならぬ時に
お子さんを足でおけりたにらぬ大恥を見ましたのが御家でも言われていませんか、いふ事がお子さ
んにうっかりやりかぬ事、結局嫌らわれる原因ともなりませう、お子さんが悪るいのはなくしてお
母さん自心がよくなつてた事になりませうからそれ分りなすつて頂きたいです
と色々話して帰りました、またたが山に欠席しない様になりませう

Y, N 三冊目

二学期の初め良く休んで校長先生の目につく位であったが私は敢て様子を見ていましたと云
日や解党のいふことが良く休む事を知らず家庭訪問をして見ると父の構えは大きくて入って見ると
床板を取りはたし修理でもしているのかと思われ、位に荒れ出した白木の隅の方には居間が
かかっている様子であった、他から一寸聞くと元は相当な家であったが父親が酒肴と麻産靴
けて野産をやらせたりした様子が分るらしい

家内をその中々出て、ない後にも呼ぶと容易く出てはまたが寝起きの様に見えた、母親
を見るに、顔は蒼蒼と活川、元気がなく、さうであった
「良く休むな、お母さんがどうした事か」
と尋ねると、どうもさうらしい

「今度休む事がある、何時でも山に参りませうから、病氣以外は学校へ来る様に、お母
さんから言われて下さい」
と話して、以来休まなりました

K, D 三冊目

家は健康で相当に甘やかしている為め、子供達に肉心を向ける事がないらしい、学校の許す限
り午後には僕達と遊ぶ様子が、いふまでもなく、お母さんに話して、さうしても肉心を向ける様子は

30

振れて来ましたその為めか内心を持って来る様になり学校へも時折り来ても学習の見学熱心になって
 子供に因する事でも何んか申かして呉れる様になった 或る日来た時に
 「此の道は良く勉強する様にならねえか」ので家で喜んでいいます少しは解つて来た様子です時折り向塾を出
 して呉れさせがむ事もある勉強仕様かと云う気分が出て来た様子です 是山は毎日学校へ行くの楽
 しみの様子です
 と喜んで貰えた
 M.D 三田

時折り休む一日欠席した時迎ひに行くと玄関が火をたいで遊んで居た
 「今日も休んだか」
 と本人に夫がぬるとはつたりしない色々話して居ると奥から母親が出て来て
 「この子は朝寝床のせがめて今朝も一寸他の用事が忙し為めうかりして居ますと今起きた所で寝く
 なったので休む気になつたのかと内心はますし
 の言です

「何時こんな事で休ませてもいらぬままか」此はお子さんが怠けるのも無理はありませんこんな
 事を繰返してはと悪るい事を憶えるばかりですよ、この事をお母さんが甘んじて居るとお子さん
 のためになりません お子さんを良くするのも悪くするのもお母さんの気分次第です どうか休ませ
 せられ学校へ来る様にお宅からは学校に近いかいのですから遅刻してでも学校へ来る様にして下さい
 お子さんが悪るいわいなくしてお母さんが悪るい様は私は思いませんが如何ですか
 此以来休ませずに居る様になった 其の後訪問です
 「此が少し解りかけて来たのか勉強をする様になつたと思ふのは少しもしたか」が此の学級に入つてから
 変つて来た様と思ひます 其の者も喜んで居ますし
 と聞いて安心して居ました

以上の様に特別学級に入つた家庭の人々に喜んで頂く様になつたが解つた最初中々欠席も多し思われし
 くなかつたが此の間の結果が欠席者も減らしたかといふ事も折山出して今迄あいつをいふ事しなかつた

INDEX

DATE	TO	SUBJECT
12 Jan 49		Deaf and Dumb School Problems for Study on Education of the Blind
29 Mar 51		Workshops - Handcapped Education

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
Civil Affairs Section
APO 500

729.3 29 MAR 1951) CAS-CE

29 MAR 1951

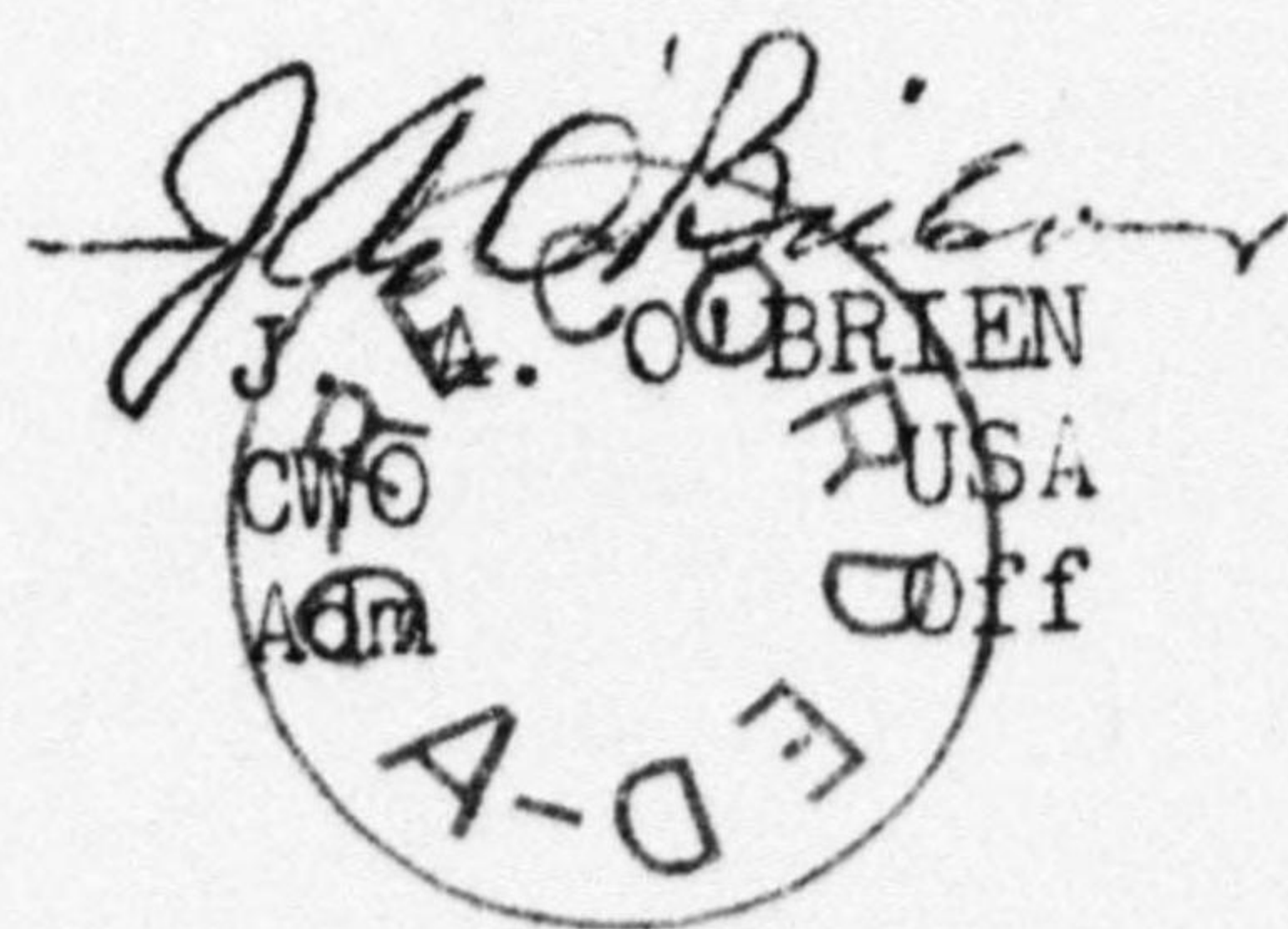
SUBJECT: Workshops - Handicapped Education

TO: Chief, Chugoku Civil Affairs Region, APO 182
Chief, Hokkaido Civil Affairs Region, APO 309
Chief, Kanto Civil Affairs Region, APO 500
✓ Chief, Kinki Civil Affairs Region, APO 15
Chief, Kyushu Civil Affairs Region, APO 1105
Chief, Shikoku Civil Affairs Region, APO 1050
Chief, Tohoku Civil Affairs Region, APO 547
Chief, Tokai-Hokuriku Civil Affairs Region, APO 710
(Attn: Civil Education Officer)

Forwarded for your information is a copy of program of workshops
for handicapped children.

FOR THE CHIEF, CIVIL AFFAIRS SECTION:

1 Incl
Program of Workshops for
Handicapped Children



WORKSHOPS - Handicapped Education

Number and Duration

Five 10-day regional Workshops on Education of the Handicapped will be held during the period May-December 1951. Teachers and principals from schools for the handicapped, teachers and principals from regular schools, teacher consultants and other categories of educational workers from every prefecture will attend these workshops.

Dates and Locations

<u>Dates(1951)</u>	<u>Place</u>	<u>Participating Regions</u>
28 May to 6 June	Hiroshima City	From Prefectures of Chugoku Region and Shikoku Region
27 July to 5 August	Fukuoka City	Prefectures of Kyushu Island
21-30 August	Sendai	Hokkaido, prefectures of Tohoku Region, Hokuriku Region, Prefectures of Kinki and Tokai Region
21-30 September	Osaka City	Prefectures of Kinki and Tokai Regions
7-16 December	Tokyo	Prefectures of Kanto Region

Regional Planning Committee and Problems

Each workshop will be divided into an elementary section and a secondary section. At the secondary level, five major problems, chosen at the national level, will run through the five workshops; an additional five will be chosen for each workshop by the Regional Workshop Planning Committee. The five nationally selected problems are:

- Development and Use of Case Histories
- Identification of the Handicapped and Their Placement in School
- Recreational Programs in Schools for the Handicapped
- Planning and Utilization of the Curriculum, and Methods
Materials
- Prevention of Physical Handicaps

Five other problems will be chosen by the Regional Planning Committees.

Incl 1

PROBLEMS FOR STUDY ON EDUCATION OF THE BLIND

Elementary School Department

1. Audio and visual education at the Blind School
 - a. Practical plan for audio and visual education at the Blind School (Kyoto)
 - b. Guidance of Braille letter to the partially blind. (Ishikawa, Shiga)
2. Guidance to the blind pupils
 - a. Problems of Training in living guidance. (Toyama, Aichi)
 - b. Guidance of the pre-school young blind. (Including the problems of adjustment to school life, and pre-school education) (Ishikawa, Osaka, Toyama, Mie)
3. Health Education
 - a. Treatment and counter-plan of the weak blind children. (Kyoto, Aichi, Fukui)
 - b. The gist of Mental Hygiene on the blind. (Kyoto, Nara)
 - c. Obstructions by loss of sight, training and preventive measure. (Ishikawa, Mie)
 - e. Walk training (Hyogo)
4. Study of Educational Materials
 - a. Devices for materials of mathematics at elementary school (Kyoto)
 - b. Means of Braille teaching and Braille board. (Osaka)
5. Problems concerning fundamental research
 - a. Research items required for blind education. (Ishikawa)
 - b. Standard of intelligence test for the blind. (Aichi)
 - c. Adaptability to the vocations for the blind. (Wakayama)
6. Learning guidance
 - a. Actual condition of individual education. (Aichi)
 - b. Desirable class organization of the children who have variable intelligence, age, physical development and sight. (Wakayama, Htogo)

2

JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL DEPARTMENT

1. Education of science and mathematics
 - a. Treatment of figure and graph in science and mathematics.
 - b. Experiment and observation in scientific curricula
(Osaka)
2. Vocational education
 - a. Vocational guidance at the blind school.
(Kyoto, Hyogo, Osaka, Mie, Aichi,
Fukui)
3. Education of the partially blind
 - a. How much may the printed letter be introduced? (Osaka)
 - b. Protection of sight and how to improve its equipment.
(Osaka)
 - c. Visual education of the partially blind. (Wakayama)
4. Mental Hygiene of the blind children
 - a. In what way should we guide the newly blinded and help them to overcome their difficulties? (Gifu)
 - b. Living guidance. (Toyama, Ishikawa, Fukui)
 - c. Guidance for the view of life to the girl student.
(Wakayama)
 - d. Sexual education for the young blind. (Nara)
 - e. Treatment of home science at the blind school, especially culture of female blind.
(Wakayama)
5. Blind education and local community
 - a. How to make use the understanding of the local community to the blind? (Mie, Shiga)
 - b. Educational connection between the institution for the blind and the blind school. (Wakayama)
6. Senses of the blind
 - a. Comparative study of senses between the blind and the ordinal person.
 - b. Psychological study of the differences between the construction of ideas in the blind and the ordinal.
(Wakayama)

PROBLEM FOR STUDY ON EDUCATION OF THE DEAF

Elementary School Department

I. Guidance for early period of school life.

1. Guidance of play and language at early period of school life. (Osaka)
2. An introductory method of learning guidance for the lower grades (Mie)
3. A concrete plan of guidance for vocal training of the deaf. (Fukui, Mie)
4. Treatment of pupils who enrolled after school age. (Wakayama)

II. Relation between oral guidance and text books.

1. Text book and oral guidance at elementary school.
 - a. Beginning of guidance)
 - b. Degree of guidance) (Osaka)
 - c. Connection with oral guidance)
 - d. Method for improving the desire of reading (Nara)

III. On audio education.

1. How to treat the hard of hearing. (Kyoto)
2. On audio education and lip-reading. (Hyogo, Osaka)
3. Concrete plan for training of hearing ability. (Shiga, Toyama)
4. Concrete plan for sensual education of the deaf. (Mie)
5. Guidance for audio education. (Hyogo, Wakayama)
6. How to make use sound instruments. (Aichi)

Junior and senior high school Dept.

I. Vocational education in the deaf schools.

1. What is the best method of vocational education in Junior High School. (Hyogo, Shiga, Fukui, Osaka)

- cont'd -

2. Obstacles in operation of vocational education and its improvement. (Osaka)
3. Study of basic educational materials of industrial arts in the Deaf School. (Mie)
4. Vocational guidance of the post-graduate. (Shiga, Toyama)
5. How to foster real ability of professional skill. (Kyoto)
6. Should the vocational education be basic or finishing education. (Nara)
7. Most suitable kind of vocations. (Nara)
8. Fostering method for more excellent ability in vocational education. (Nara)
9. What kind of vocational guidance is needed for leading social life as a professioner? (Wakayama)

II. Audio education in Junior and Senior High School.

1. What method is most suitable for carrying on audio training. (Toyama)
2. Method of audio education. (Wakayama)
3. How to utilize the sound instruments. (Aichi)

III. Miscellaneous.

1. What standard should be put in selection of text books. (Aichi)
2. How to standardize intelligence measurement? (Aichi)

COMMON PROBLEMS TO ELEMENTARY SCHOOL, AND JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL DEPARTMENT

I. Equipment and measurement.

1. Speciality of formation of curricula in deaf education (Gifu)

2. Equipment of the deaf school and its characteristics.
(Kyoto)
3. How to organize classes in the deaf school. (Kyoto)
4. Investigation to the planning and administration
of dormitory. (Kyoto)
5. Administrative plan for improving special education.
(Ishikawa)
6. School library administration in the deaf school.
(Toyama)

II. Guidance for living and health education.

1. Living guidance for the deaf. (Shiga, Mie)
2. Time and method of sexual education. (Nara)
3. Health education to the deaf. (Mie)
4. Physical specialities of the deaf and its counter-
plan. (Nara)
5. Mental hygiene of the deaf. (Scolding and praising).
(Nara, Hyogo)
6. Moral guidance. (Toyama)

III. Miscellaneous.

1. Observation and observation-note of the child.
2. In-service training. (Kyoto)
3. Welfare improvement. (Kyoto)
4. Selective learning. (Toyama)
5. Practical plan for sensual rhythm training in deaf
education. (Nara)
6. Plan of formative education of the deaf. (Nara)
7. Training method of retarded child in Deaf School.
(Nara)

PROBLEMS FOR STUDY ON EDUCATION OF
THE MENTALLY RETARDED

Elementary School Department

- I. Education of the mentally retarded and how to make its value socially recognized.
 1. The importance of education of the mentally retarded and how to make it socially recognized. (Osaka)
 2. About the perspective desirable for the parents to have on the above education. (Ishikawa)
 3. About the community aid to be offered for the special educational activities of the above nature. (Wakayama, Shiga)

- II. Organization of special classes.
 1. Aims of organizing such classes and how to bring them into practice. (Kyoto, Fukui)
 2. Standards of the qualities of the pupils to be enrolled in the above classes in the existing school facilities. (Kyoto)
 3. Difficulties and problems of special consideration in starting the above class-organization and how to solve them. (Mie, Shiga)
 4. Activities before and after the inauguration of the above class-organization and the pattern to be followed in organizing such classes. (Toyama)
 5. The scope of the mentally retarded and how to select them. (Nara)

- III. How to treat the mentally retarded in regular school-classes.
 1. How to treat the mentally retarded in regular school-classes. (Kyoto)
 2. Problems of guidance to special pupils in regular school-classes. (Mie, Shiga)
 3. Education of special pupils in case special classes are not organized. (Ishikawa, Fukui, Gifu)
 4. How to guide the middle pupils in their learning activities. (Ishikawa)
 5. About the character guidance to the special pupils. (Ishikawa)

6. Observation of the mentally retarded in case-study and the method of guidance based on them. (Toyama)
7. Kinds of gulf, to be found between the mentally retarded and the normal in their intercourse. (Aichi)
8. How to arrange the gulfs between the mentally retarded and the special pupils among the middle pupils. (In case both are accommodated in special classes.) (Aichi)
9. How to help correct the fitful behaviors of the abnormal in the mentally retarded class. (Aichi)
10. How to give fresh vigor to the deadlocked basic education of the mentally retarded. (Aichi)
11. Health education of the mentally retarded with special emphasis on their hygienic behavior. (Aichi)
12. How to treat the mentally retarded in special class. (Aichi)
- a. About learning.
 - b. About extracurricular guidance.
 - c. Relations between their intellectual development and their physical growth.
13. How to treat the special pupils in the regular class in case special classes are not formed. (Wakayama)

IV. Evaluation of learning of the mentally retarded.

1. How to evaluate the learning of the mentally retarded. (Mie)
2. Evaluation of learning of children in special class and special school. (Osaka)
3. Considerations of text-books and curricula for the classes of the mentally retarded. (Kyoto, Shiga, Fukui)
4. Learning materials and how to select them for the mentally retarded. (Kyoto)

- 5. Inferiority complex, how to test and investigate it and the method of education to help remove it. (Nara)

V. Miscellaneous.

- 1. Factors to make children the mentally retarded. (Nara)
- 2. Traits to make them the mentally abnormal. (Nara)
- 3. Relations between the above factors and traits and the children's physical defects. (Nara)
- 4. How to guide children in drawing. (Nara)
- 5. Value of education of their sentiments. (Nara)
- 6. How to train the senses of the mentally retarded. (Shiga)

Juniro High School Department

I. Vocational guidance and post-graduate guidance.

- 1. How to help find out and develop the possible abilities for vocations in the mentally retarded and how to help those abilities to be socially adapted in future. (Mie)
- 2. Vocational guidance to the mentally retarded and their post-graduate guidance. (Osaka, Shiga)
- 3. Vocational guidance to the mentally retarded at Junior High School and how they are being admitted into society. (Kyoto)
- 4. Graded education of the normal children through Junior High School and that of the mentally retarded. (Aichi)
- 5. Vocational education in special education. (Aichi)
 - a. Fields of guidance.
 - b. Scope of guidance.
 - c. Extent of guidance.
 - d. Contributions to society.

II. Relations between School Education Law, Child Welfare Law, Juvenile Law in the light of special education.

1. Limit of special children in school education. (Ishikawa)
2. Improvement of special education and its budget. (Osaka)
3. Qualities of teachers in charge of special classes and their payment. (Osaka)
4. Relations between School Education Law, Child Welfare Law, Juvenile Law in the light of special education. (Osaka)
5. Problems about the future of the special children protected by Child Welfare Law after the expiration of their protection period. (till 18) (Kyoto)
6. How to treat the mentally retarded accommodated in the Borstal Institution. (Wakayama)

III. Miscellaneous.

1. How to give educational chances adapted for the abilities of the mentally retarded. (Toyama)
2. Connections between special education at Elementary School and at Junior High School. (Wakayama)
3. Special education in case no facilities are available. (Aichi)
 - a. Group guidance.
 - b. When to give guidance.
 - c. Miscellaneous.

Blind School

January 12, 1949

Memorandum No.2

Subject: Deaf and Dumb School

Whether the Prefectural Government of Kyoto should purchase a building owned by the Finance Ministry and now being used by Repatriation Section which is put under the jurisdiction of the Governor, for the purpose of establishing a new dumb and deaf school has been a long-standing issue.

At first the Governor was rather inclined to take the building because he thought that transfer of the title would be made without any compensation.

In September last year representatives of a certain Catholic Order located in Osaka called on the Governor and informed him that the Order had negotiated with "Osaka Zaimukyoku" (Government Property Bureau) as to the purchase of this building to open a school there and that the answer was as follows.

- a) The Bureau, with the endorsement of the Finance Ministry agrees to sell the building in question at the price of ¥ 12,000,000.
- b) The purchase will become, effective after the governor of Kyoto issues permission to open the school.

The Governor referred this information to the Department of Education with the request that Dr. Amano, Director of the Department, after consulting with Education Section of Kyoto M.G.T. should report back to the Governor his personal opinion it is most desirable to secure this property for the Prefectural Government.

Then the Governor sent Vice-Governor Inoue to Osaka to negotiate with the Bureau Chief. The Bureau Chief insisted that it is impossible to transfer the title of the Government Property to any one without compensation; that in case the Bureau sells the building to some one other than the Catholic Order, the price will be, as the result of amendment of the regulation, two times as high as with the Catholic Order; and that even though the agreement with the Catholic Order should be cancelled, Kyoto Prefecture may not get priority, because two other government's offices had applied for the transference of the buildings prior to the prefectural government's overture.

Under such circumstances the Governor is rather reluctant to push the purchase of the buildings specially in consideration of the following accounts.

- a) To open the deaf and dumb school there, the cost will amount nearly 5 million Yen including the compensation to be paid to the finance ministry. The Prefectural Government can not afford such a huge expenditure.

- b) At the suggestion of Kyoto M.G.T. the prefectural government lent last year to the municipal government four buildings which had been used by old middle-schools. These buildings will be turned back by March 31, 1950 at latest. One of them can be and should be used for the dumb and deaf school. The Governor can see no reason why the prefectural government should spend public money as long as there are suitable buildings which belong to it and will become available shortly.

On Jan 7, 1949 the Governor had a conference with Mayor Kambe and his assistants, and requested them to buy the building in question for the sake of the Prefecture. But they refused to do so on account of the financial distress.

In view of the above mentioned situation, measures to be taken by the Governor should, in his opinion, be as follows.

- a) The plan to acquire a new building for the deaf and dumb school should be abandoned.
- b) The Governor, who is given authority of supervising private schools, should grant the Catholic Order to establish its new school in Fushimi without further delay.
- c) The Mayor is under obligation to find out and offer to the prefectural government a suitable place for the deaf and dumb school so that the education of the handicapped children may not be suspended.

The Governor will highly appreciate if Kyoto M.G.T. would give him any suggestion and advices in regard to the solution of this most complicated problem.

.....
 Atsushi Kimura
 Governor, Kyoto Pref.